

## 「世界を救った一人の 外国人女性の信仰」

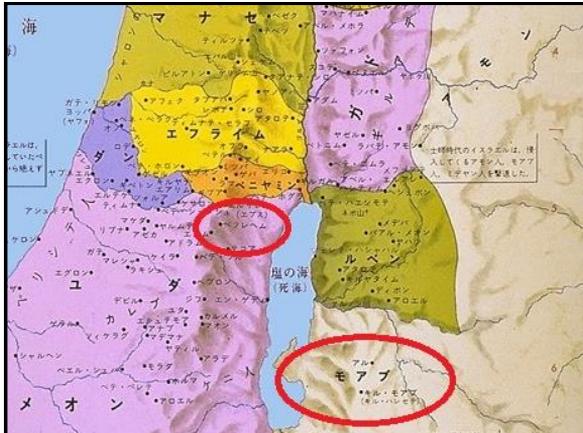
ルツ記 4章13～17節

1

## ナオミを襲った苦しみ

- 士師の時代という「最悪の時代」
- 「そのころ、イスラエルには王がなく、めいめいが自分の目に正しいと見えることを行っていた。」 士師17:6、18:1、21:25
- 飢饉
- 夫の死
- 二人の息子の死
- 災害、病、死、不幸は良い人をも襲う
- のろい？ばち？ ヨハ9:2-3
- イエスは答えられた。「この人が罪を犯したのでもなく両親でもありません。神のわざがこの人に現れるためです。ヨハ9:3

2



3

## ナオミを助けた嫁(ルツ)の信仰

- ルツの信仰告白(誓い)
  - ルツは言った。「、、あなたの行かれる所へ私も行き、あなたの住まれる所に私も住みます。あなたの民は私の民、あなたの神は私の神です。あなたの死なれる所で私は死に、そこに葬られたいのです。もし死によっても私があなたから離れるようなことがあったら、【主】が幾重にも私を罰してくださいるように。」
- ルツ1:16-17

4

## ナオミを助けた嫁(ルツ)の信仰

- ルツはナオミ(の生活)から信仰を学んだ？ 1:13
- ルツは神を選んだ。モアブにはすべてがあったが故郷を捨てて異郷のユダヤへ、姑ナオミのために移住した。(自分を捨てる)
- ナオミが「いのち」を得られるように、自分のいのちを捨てた。(誰に似ている?)
- 「無条件」の信仰、愛 **信仰は愛**
- 私たちの信仰は条件付き？

5

## ルツの信仰の働き(信行)

- 外国人(敵であるモアブ人)の女性という問題
- **カッコ悪い選択、苦しみの伴う選択**
- 「落穂ひろいは」人気の職業ではない
- ルツ(ボアズ)の信仰から学ぶ
- ですから、あなたがたは、**神の力強い御手の下にへりくだりなさい。**神が、ちょうど良い時にあなたがたを高くしてくださいるためです。 1ペテロ 5:6
- **受けるよりも与えるほうが幸いである。** 使徒20:35

6

### ルツを助けたボアズの信仰

- 神のあわれみとボアズの親切
- あなたがたの土地の収穫を刈り入れるときは畑の隅々まで刈ってはならない。あなたの収穫の落ち穂を集めてはならない。またあなたのぶどう畑の実を取り尽くしてはならない。あなたのぶどう畑の落ちた実を集めてはならない。貧しい者と在留異国人のために、それらを残しておかなければならない。わたしはあなたがたの神、【主】である。レビ19:9-10

7

### ルツを助けたボアズの信仰

あなたが畑で穀物の刈り入れをして、束の一つを畑に置き忘れたときは、それを取りに戻ってはならない。それは在留異国人や、みなしご、やもめのものとしなければならない。あなたの神、【主】が、あなたのすべての手のわざを祝福してくださるためである。あなたがオリーブの実を打ち落とすときは、後になってまた枝を打ってはならない。それは、在留異国人や、みなしご、やもめのものとしなければならない。ぶどう畑のぶどうを収穫するときは、後になってまたそれを摘み取ってはならない。それは、在留異国人や、みなしご、やもめのものとしなければならない。あなたは、自分がエジプトの地で奴隷であったことを思い出しなさい。だから、私はあなたにこのことをせよと命じる。申 24:19-24

8

### ルツを助けたボアズの信仰

- …、ボアズは若者たちに命じて言った。「あの女には束の間でも穂を拾い集めさせなさいあの女に恥ずかしい思いをさせてはならないそれだけでなく、あの女のために、束からわざと穂を抜き落としておいて、拾い集めさせなさい。あの女をしかってはいけません。」ルツ2:15-16
- ボアズはカッコ悪い選択をしたルツをカッコいいと(素敵だと)思った。

9

### ルツを助けたボアズの信仰

すると、ボアズは言った。「娘さん。【主】があなたを祝福されるように。あなたのあとの真実は、先の真実にまさっています。あなたは貧しい者でも、富む者でも、若い男たちのあとを追わなかったからです。さあ、娘さん。恐れてはいけません。あなたの望むことはみな、してあげましょう。この町の人々はみな、あなたがしっかりした女であることを知っているからです。」ルツ3:10-11、(箴31:10)

10

### ルツとボアズの信仰(信行)

- 士師記(思うようにいかない、いっても)神を捨ててしまう人々の記録(自分中心、自分を愛し喜ばせる生き方)、ルツ 何があっても神と一緒に生きた人々の記録(神を愛し、人を愛する生き方)
- イスラエルは荒野で、不平不満のために滅びた。約束の地に入っても、自分勝手に生きて滅びた。
- 神が求める信仰は、へりくだり、従い、成長し世の光として神の栄光を表す信仰(信行)

11

### ルツとボアズの信仰(信行)

こうしてボアズはルツをめとり、彼女は彼の妻となった。彼が彼女のところに入ったとき、【主】は彼女をみごもらせたので、彼女はひとりの男の子を産んだ。女たちはナオミに言った。「イスラエルで、その名が伝えられるよう、きょう、買い戻す者をあなたに与えて、あなたの跡を絶やさなかつた【主】が、ほめたたえられますように。その子は、あなたを元気づけ、あなたの老後をみとるでしょう。あなたを愛し、七人の息子にもまさるあなたの嫁が、その子を産んだのですから。」ナオミはその子をとり、胸に抱いて、養い育てた。近所の女たちは、「ナオミに男の子が生まれた」と言って、その子に名をつけた彼女たちは、その名をオベデと呼んだ。オベデはダビデの父エッサイの父である。ルツ4:13-17

12